

企画展

# 漫画『ドミトリーともきんす』

まきの とみ た ろう

## の住人 牧野富太郎

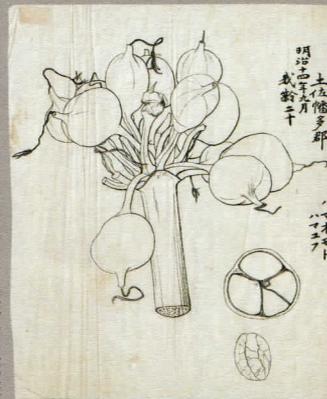
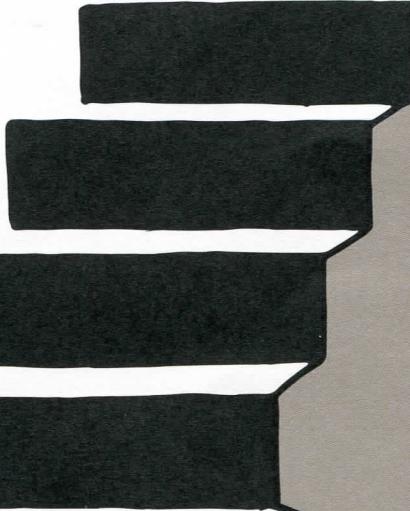


© 高野文子

会期: 2015年

### 4/18(土) ~ 5/31(日)

- 開園時間: 午前9時~午後5時 (ただし、企画展は午前9時30分~午後4時30分)
- 入場無料
- 園芸相談: 午前9時30分~12時30分、午後1時30分~4時30分
- 休館日: 毎週火曜日 (ただし、5月5日は開館し、7日は休館)、年末年始
- 所在地: 練馬区東大泉6-34-4
- 企画展についてのお問い合わせ先: TEL 03-6904-6403 FAX 03-6904-6404



ハマオモト 牧野富太郎筆



『ドミトリーともきんす』  
高野文子作 中央公論新社刊

### 牧野富太郎 (1862-1957)

1862(文久2)年4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、採集した植物は約40万点、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。1926(大正15)年に渋谷から北豊島郡大泉村(現練馬区立牧野記念庭園の所在地)に移り住み、1957(昭和32)年に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。



交通案内 ★駐車場はございません

- 西武池袋線 大泉学園駅下車(南口) 徒歩5分
- JR中央線、西武新宿線から バスで「学芸大付属前」下車、徒歩3分

主なバス経路

- 荻窪駅/上井草駅から、西武バス「長久保行」
- 西荻窪駅/上石神井駅から、西武バス、関東バス「大泉学園駅行」
- 吉祥寺駅/武蔵関駅から、西武バス「新座栄行」「都民農園セコニック行」他

入場無料

## 練馬区立 牧野記念庭園記念館

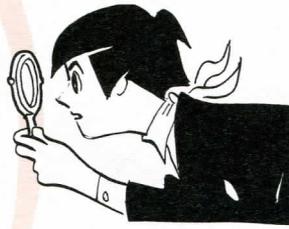
牧野記念庭園は文化庁登録記念物(遺跡および名勝地)です

# Makino Memorial Garden & Museum

# 企画展内容



リンボク  
牧野富太郎 筆 1881(明治14)年9月



©高野文子

まきのともきたろう  
牧野富太郎(1862-1957)は大の植物好きで、一人裏山で草木と遊ぶ少年だったといえます。富太郎は10歳頃から寺子屋で学び、その旺盛な知的好奇心から様々な学問を習得していきました。その中でも、特に植物に興味を持った富太郎は、明治14(1881)年から何年にもわたり、土佐の植物を採集して回りました。そのようにして、土佐の豊かな自然を師として独学で植物学を学び、植物分類学の基礎を築いてきました。

本展では、高野文子作・漫画『ドミトリーともきんす』に登場する「マキノ君」の原画展示とともに、作中で描かれた青年時代の富太郎にスポットを当てます。富太郎の土佐におけるフィールドワークの足跡『土佐幡多郡采草草木図帖』など明治10年代の研究資料をご紹介します。



## 『ドミトリーともきんす』とは...

湯川秀樹、朝永振一郎、中谷宇吉郎、そして牧野富太郎。この4人の科学者が、もしも一軒の学生寮に集っていたら…。高野文子が漫画の中に描いた、空想上のドミトリー。

## 関連イベント

### 講演会

## ともきんすの中のマキノ君のこと

- 【講師】高野文子氏 (漫画家)
- 【日時】2015年5月10日(日)  
午後2時～3時30分
- 【参加】無料
- 【定員】28名
- 【申込】事前申込制(抽選)
- 【場所】練馬区立牧野記念庭園 講習室



### 講演会申込方法

郵便往復はがきの往信用裏面に郵便番号・住所・氏名・電話番号・イベント名を、返信用表面に郵便番号・住所・氏名を明記して、「4月30日(木)(必着)」までにお申し込みください  
(〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-34-4 練馬区立牧野記念庭園記念館)。

※講座の対象は区内在住・在勤(在学)の方です。区内在住でない方は勤務先や学校の住所を記入してください。お申込みは一人一通に限りです。



### 高野文子 (たかの ふみこ)

漫画家。1957年生まれ。1979年商業誌デビュー。2003年「黄色い本-ジャックチボーという名の友人-」で手塚治虫文化賞マンガ大賞受賞。2014年刊行の『ドミトリーともきんす』は漫画でありながら読書案内の役目とするユニークな一冊として話題になる。



### ギャラリー・トーク

#### 学芸員による展示解説

- 【日時】2015年4月29日(水・祝)、5月17日(日)  
いずれも午後2時30分より20分程度
- 【参加】無料
- 【定員】20名(先着順)
- 【場所】練馬区立牧野記念庭園記念館 企画展示室



牧野記念庭園にはスエコザサ、センダイヤ(サクラ)、ヘラノキなど300種類以上の植物が植えられています。園内の記念館では企画展を開催、鞘堂では牧野博士が研究に専念した書斎と書庫を公開しています。